

第2期奥州市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）に対するパブリックコメント（意見募集）手続きの結果について

1 パブリックコメント（意見募集）手続きの実施概要

- (1) 意見募集期間：令和2年2月18日（火）～3月9日（月）
- (2) 閲覧場所：市ホームページのほか、奥州市役所政策企画課、各総合支所地域支援グループ
- (3) 意見を提出できる方：市内に在住、勤務、通学している方
- (4) 意見の提出方法：住所、氏名等を明記し、「郵送」、「持参」、「FAX」、「電子メール」のいずれかの方法による。（電話・口頭受付不可）

2 意見の提出状況

提出者4人（意見数13件）

3 意見の内容とそれに対する市の考え方

A：計画へ反映させるもの、B：計画同趣旨或いは記載済のもの、C：計画等の推進の段階で検討するもの、D：計画への反映が困難なもの

区分	件数	A	B	C	D
全体	2		1	1	
表現	2		1	1	
取組	7		2	5	
指標	1		1		
推進体制	1			1	
合計	13		5	8	

4 意見内容

番号	ページ	細目	ご意見等	市の考え方	区分
1	4	取組	<p>奥州市の移住定住サイト見ました。 たまたまかもしれませんが、私の身の回りの『奥州市以外の出身者で奥州市に嫁いできた、あるいは配偶者の転勤で奥州市に移り住んだ』という方々は、『奥州市いいところだよね〜』と言い、転勤で離れる時には『できればここにもっと居たかった』とおっしゃる方が多いです。たまたまかもしれませんが、地元民の私に気を遣ってのことかもしれませんが…。 そういった方の声も載せるといいかもしれません。</p> <p>空き家バンクの情報も多いですが、結局、『その地域はどんな地域?』『どんな人が住んでいるの?』も気になると思います。空き家の近くに住む人だっ、て、『どんな人が引っ越してきたのか?』様子をうかがいながらの付き合いになると思います。制度や補助金を伝える事ももちろん大事ですが、地域住民との人間関係と仕事(若い人の場合)がIターン者にとっての心配事かもしれません。おそらく、市役所には移住相談係りの人がいるのかもしれませんが、そういった方が『地域の人との橋渡し役』『調整役』『困った時の相談役』さらには『仕事探しのお手伝い』まで担ってくれればと安心かもしれません。特に地縁が根強い地域の物件が多いように思いましたので、中間でお互いの相談役、コーディネーター役の人が、『私にお任せください!!』とコーディネートをお約束するページがあるといいような気がします。</p> <p>市街地では、自由に家の外で子どもを遊ばせられる場所が少なく(防犯等安全性の面でも)、親も子も持て余してしまっている家庭が多くあるように思います。そこで、ふと、中山間地にある私の実家の田畑やハウス、庭などで遊びに来ませんか?と近郊の子育て家庭に呼びかけたところ、とっても反応が良かったんです。私の実家はグリーンツーリズムやワーキングホリデーの受け入れ農家ですが、『親子ツーリズム』『子連れツーリズム』もいいかもね、と感触をつかんだところでした。</p> <p>少し離れたところには田畑があり、子どもを自由に遊ばせられて、昔ながらの季節行事が残っている地域は、都会で子育てしている家庭には魅力的に映ることがあるようです。奥州市はその条件(不便のない市街地もあるし少し移動すれば、子どもにかけがえのない経験をさせられる中山間地山間地もある)が整っているように思います。</p> <p>そういった地域の魅力を発信しているページをリンクさせたり、動画で紹介したりするとさらに良い移住定住サイトになると思います。</p>	<p>移住希望者の様々なニーズに応じた情報発信、移住に対する期待や不安に対するきめ細やかな相談体制の強化等により、奥州市への移住・定住を促進することとしております。</p> <p>奥州市では、移住希望者や移住された方の相談等に対応する移住支援員を配置しており、移住サイトで移住支援員を紹介するコーナーを現在作成中です。また、移住者紹介ページの拡充についても検討しておりますので、お知り合いの方をご紹介いただくと幸いです。</p> <p>奥州の魅力を伝える様々な情報発信に向け、ご意見を参考にしながら、移住・定住の促進を進めてまいります。</p>	C

4 意見内容

番号	ページ	細目	ご意見等	市の考え方	区分
2	3	取組	<p>身近な話を聞くと、保育士さん不足は、本当に深刻のようです。逆に、より良い条件の幼保施設へ保育士さんたちもどんどん移動しているようです。奨励金や補助金等の取り組みの他に、メンタル面でのサポートも必要と思います。確か、今年2月に出された介護職員の確保対策はより細かくできていたと思います。保育士についても、現場の保育士さん、潜在保育士さんたちの声を聞いて分析をして、奥州市独自のサポート体制を打ち出してほしいです。また、参考にならないかもしれませんが、東京のお知り合いさんが新たに認可保育園を作るにあたり、たくさんお金をかけて各種求人に乗せても全く集まらず、保育士募集に苦勞したけれども、結局のところ、知り合い知り合いの口コミでほとんど集めた、とお話していました。人と人のつながりが一番集まりやすいとおっしゃっていました。</p>	<p>子育てしながら働きやすい環境づくりを支援することとしておりますが、その具体的取組のひとつとして、保育士確保緊急対策事業に平成29年度から取り組んでいるところです。ご意見を参考にしながら、保育士確保の取組を進めてまいります。</p>	C
3	4	取組	<p>地域で活動する人たちの横のつながり、交流会が必要と思います。一関の市民活動支援センターのような、取りまとめの中間支援組織がやっぱりあると思います。</p>	<p>市民公益活動の活性化や地域課題を解決するには、人（団体）同士が協働で進めていくことが肝要であると認識しています。また、ご意見にありましたとおり、各団体のつなぎ役を民間の中間支援組織に担っていただくことが理想的とも感じているところですが、現在は、市がつなぎ役となり、この取組を進めているところです。まずは、市がその役目をしっかり果たしながら、将来的な中間支援組織の立ち上げに参画出来る人材の育成を進めてまいります。</p>	C
4	12	取組	<p>子育て環境ナンバーワンへ、とありますが、子育て世代（18歳未満の子を持つ全ての保護者）に対して、保育料・授業料・医療費といった子育ての費用を支援するなど、思い切った施策を行わないと、若者の定住・定着につながらないと思います。老人福祉も大事ですが、これからを担う若者がいなくなってしまうのは、老人も支えられなくなってしまいます。</p>	<p>財政状況を勘案しながら、個別の取組において、効果のある内容を検討しながら進めてまいります。</p>	C

4 意見内容

番号	ページ	細目	ご意見等	市の考え方	区分
5	6~18	表現	<p>3. 第2期市総合戦略の目指すべき方向 (1) 基本方針・基本目標の継承 目標1 安定した雇用と新しい産業の創出 ①安定した雇用は、地域に密着した地域人による企業が望ましい。 ②それを支える多くの関連企業との密接な連携が求められる。</p> <p>目標2 出会いを通じた結婚支援、子育て環境ナンバーワンへ ①出会いの「場」と「時」が必要であり、地域毎に既設の「場」地域センター等を活用し、地域から随時交流の場を広げてより良い出会いを支援し、特に限界集落とも言われる地域こそ重視すべきである。 ②子育て環境(地域・施設・相談。親の育児休暇など)の充実。</p> <p>目標3 体験を通じた新たな奥州ファンの開拓 ①ふるさと思考によるI・Uターン支援、及び各郷土会の交流と支援。</p> <p>目標4 地域愛の醸成と、安心・安全に生活できる個性豊かな地域社会の実現 ①地域愛は、地域の過去から現在を知ることであり、知る機会と場を作らなければならない。その指導者がいるはずである。 ②安心・安全は常に心において置き、特に「自主防災組織」を活用。</p>	<p>目標1 重視する視点として、地方創生等に取り組む企業等と積極的に連携することとしております。(P6.3(2)③協働の取組)</p> <p>目標2 民間団体と連携した結婚支援の推進、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを位置づけております。(P12.4(2)出会いを通じた結婚支援、子育て環境ナンバーワンへ)</p> <p>目標3 UIターンにつきましては、様々な機会を活用してPRを図っております。</p> <p>目標4 子ども等が地域の歴史・風土・文化等を学ぶ機会の確保、自助・共助を活かした地域防災の充実、を位置付けております。(P16.4(4)①生涯を通じた学習支援による、人づくりの推進・③災害に強く、犯罪のない、安心・安全な地域づくりの推進)</p>	B
6	6	推進体制	<p>(2) 重視する視点 ③協働の取組は、市民がこの戦略を知ることから始まる。第一期においてどれだけ市民が知って意識的に協働に参加したでしょうか。</p>	<p>引き続き、ホームページ等において周知に努めてまいります。</p>	C
7	7	表現	<p>(3) 新たな視点 ここでは、かな文字と抽象的な学問的文言が多くて、市民が果たして十二分に判断して対応できるか疑問です。もっと、現実的な表現で的確な実現可能なものを求めます。</p>	<p>新たな視点につきましては、これからの技術革新とともに顕在化すると見込まれており、国等の動向を踏まえながら市民の皆様にご意見を聞きながら考え方が浸透するような取組を進めてまいります。</p>	C

4 意見内容

番号	ページ	細目	ご意見等	市の考え方	区分
8	9	取組	4. 総合戦略の基本目標の達成に向けた基本的施策 (1) 安定した雇用と新しい産業の創出 ① 第1次産業こそが、人間社会の生きるための基本です。それが現代は、揺るぎ勝ちであり、経済的に恵まれないために若者が定着できない。	担い手への支援、育成を図っていくこととしております。(P9.4(1)①農・商・工・伝統工芸産業などの産業基盤の強化と新産業の創出)	B
9	10	指標	水田整備面積 継続的に拡大されているが、単位面積当たりの工事費が超高額であり、農家負担が高むことと、貴い税がその負担を負うことである。その高額負担を生かす農政と農民の協働こそ大事です。 森林整備実施面積 国産材が漸く生かされようとしているが、森林を、積極的に先人たちが営々として管理してきたのに、現代は森林所有者に取って利益の出ない山になり、森林が荒廃しようとしている。木を切っても森林作業者の労務費等に費やされて所有者には、微細な利潤若しくは逆負担が強いられている。	担い手への支援、育成を図っていくこととしております。(P9.4(1)①農・商・工・伝統工芸産業などの産業基盤の強化と新産業の創出) 森林組合等の関係機関・団体と連携を図りながら、国・県の補助事業を活用し、森林の公益的機能が発揮されるよう森林の整備に努めてまいります。	B
10	-	全体	第一期において、これらの計画が周知されていない。公的な組織のリーダーでし、存知あげていない。先ず協働を言うならば、知ってもらわなければならない。あらゆる機会と場を設けて即実行することが肝要です。 新たなコミュニティ形成の構築を求めます。地域の公的・私的団体個人への(地区センター、福祉団体、農業関連団体、町内会、自主グループ、等など)への協働を積極的に推進するよう働きかけをしなければならない。そのため市民への周知徹底が絶対必要条件である。	引き続き、ホームページ等において周知に努めてまいります。	C
11	-	全体	ひと(相談)で、来客者はこまり事で相談に来ますが、受付側は「この相談は、この相談だけです」と言われ、他の相談を受け付けない現実です。たとえば、相談をしたい来客者は、いろんなからみがある来客者がいます。それをまず聞くということが大事だと思います。	「誰もが活躍できる地域社会の実現」に向け、「誰もが居場所と役割を持ち、生きがいを感じながら暮らすことができる地域社会の実現」を目指しております。多様な主体が連携・協働するなどして、取組を図ってまいります。	B

4 意見内容

番号	ページ	細目	ご意見等	市の考え方	区分
12	-	取組	障害者の仕事の件。今の企業は、病気持ち（障害者をふくむ）、一般の人、皆一色胆で、一般を基準です。一つの企業を、二つ以上の企業にして、一つはそのまま。もう一つは親切ていねいにおしえる方がいて、こういうことは、これこれですと言うことと、聴いたらすぐ怒らない方を、企業がみつようです。また、1時間～4時間内の社会訓練所とかほしいです。企業に雇用された障害者が職場や仕事になじめなくてやめてしまうので、その再訓練。	障がい者の就業については、労働局によるハローワークレーニング（公共職業訓練、求職者支援訓練）のほか、関係機関との連携による各種研修や労働相談などの支援を行っております。今後も、「誰もが活躍できる地域社会の実現」を目指して、引き続き取り組みを進めてまいります。	B
13	-	取組	人口を維持する事は、各行事ごとをふやすこと（祭り、講座、イベント各行事）	個別の取組において、効果のある内容を検討しながら進めてまいります。	C